

Town Topics

まちの話題

話題・出来事など皆さんからの情報をお待ちしています。



交通安全事故をなくそう!! 浜佐呂間保育所交通安全啓発活動

3月13日、浜佐呂間保育所の子ども達による交通安全街頭啓発が行われました。

寒空の中、子ども達は、浜佐呂間バス停留所前で交通安全旗を持ち、ドライバーへ安全運転を呼びかけました。

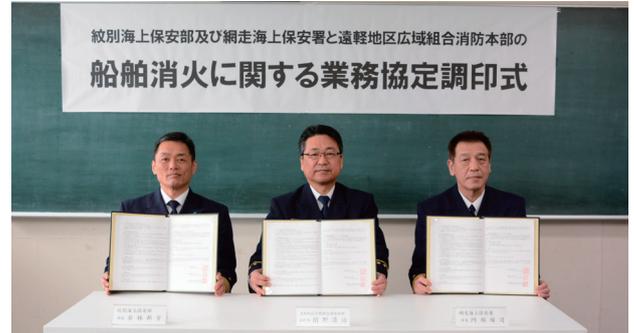


社会貢献活動に感謝!! 佐呂間トラック(株)が融雪剤散布実施!

3月16日、佐呂間トラック(株)による社会貢献活動として、浜佐呂間小学校グラウンド・佐呂間中学校グラウンド・多目的広場の融雪剤散布が実施されました。

この融雪剤の散布作業は、毎年同社の社会貢献活動として実施されており、この活動のおかげで雪解けが早く進み、グラウンド及び多目的広場を早期に利用することができます。

佐呂間トラック(株)の皆さん、寒い中、作業を実施していただき、大変ありがとうございました。



連携強化し、住民の安全に貢献! 船舶消火に関する業務協定調印

2月22日、遠軽地区消防本部で、船舶消火に関する業務協定の調印式が行われ、オホーツク海やサロマ湖で発生した船舶火災の消火や救助の連携を強化し、円滑に業務を遂行するために、同本部と紋別海上保安部、網走海上保安署が業務協定を締結しました。



永年の功績を称え 渡部英章氏が北海道善行賞を受賞

2月1日付で、渡部英章氏が北海道善行賞を受賞されました。

渡部氏は、平成5年から24年もの永きにわたり、その豊富な経験や知識を活かし、交通指導員として交通指導や交通安全の啓発活動にご尽力されました。

平成17年4月からは、交通指導部長として町内指導員をまとめるとともに、後進の指導に努めるなど、地域の交通安全対策に多大な貢献をしていただきました。

2月26日に役場応接室において川根章夫町長より表彰状の伝達が行われました。

卒業

～夢と希望を胸に新たな道へ～

佐呂間小学校 (3/16)



若佐小学校 (3/23)



佐呂間中学校 (3/15)



浜佐呂間小学校 (3/23)



佐呂間高校 (3/1)



『オホーツク寒気団道外研修』感想文

今 回の研修を主催する「オホーツク寒気団」とはオホーツク圏内はもとより道内外のネットワークを構築し、様々な活動を通じてオホーツク（地域）づくりの一翼を担っている団体です。

「オホーツク寒気団道外研修」は日本各地の先駆的な活動をしている地域及び企業を訪問・研修することにより、今後のオホーツクづくりの一助とすることを目的として、2月22日から25日の3泊4日の日程で行われました。

本町から2名の高校生が参加しましたので、研修を終えた高校生の感想文を紹介いたします。



土屋 杏奈く 『オホーツク寒気団の研修に参加して』

私は今年の2月22日から2月25日までの4日間のオホーツク寒気団さんの研修に一緒に行かせていただきました。学校での見学旅行以外では道外へ出る機会がほぼ無かった私にはとても貴重な研修となりました。

まず1日目は女満別空港から出発し、東京の羽田空港へ降り立ちました。この日は、東京に着いてから「なみへい」という場所で夕食を兼ねた交流会に参加しました。初日ということもあり、なかなか緊張がほぐれず、あまり積極的に話を聞きに行けなかったことを今さら後悔しています。ですが、去年私と同じように研修に参加していた、東京へ進学した先輩と久しぶりにお会いし、話せたことはとても楽しく、記憶に残っています。1年前はもう少しきこなく感じていた先輩が少し大人っぽくなっていて、「がんばれよ」という一言にさえ色んな思いが詰まっているような気がしました。

2日目は起きてすぐ築地市場を見学して、静岡県の南伊豆町に行きました。この町は他の町や北海道と比べて暖かく、菜の花や桜が咲いており、「春」を感じました。私は基本的に車酔いをするため、車で移動するときは寝ているのですが、北海道では見られない景色がとても美しく、ずっと外を眺めていました。この南伊豆町も佐呂間町のように高齢化が進んでいる地域で、ほとんど若い人達が減っていつているそうです。ですがその分、子供同士の付き合いが深く、みんなが仲良いんだなという印象を受けました。直売所の湯の花を訪れましたが、地元の人達が作ったものが多く並んでいて、賑わっていました。夏には、菜の花の代わりにひまわりを植えるそうなので、見てみたいなと思いました。

3日目は、愛知県の足助町へ行ききました。この町の市街地を見学して

飾ってありました。飾ってあった物の中には、プラスチックではなく、土で出来た伝統的な人形もありました。今まで見てきたひな人形とは違い、ひな壇が何段もあり、どの家にも同じ物はありませんでした。三州足助屋敷も見学してきましたが、本当にタイムスリップしたかのような感じで、こまやけん玉、お手玉などがありました。

そして4日目は、足助町のまわりきれなかった所を散策し、北海道に戻ってきました。

この研修でいろんな場所でも多くの方々にお会いしました。皆さんとても優しい方ばかりで、楽しく4日間を過ごすことが出来ました。今回連れて行って下さったオホーツク寒気団の皆さんや出会った皆さんに感謝し、この経験を活かして、これからもいろんなことを頑張っていこうと思います。



堀川 流く 『研修録』

私は、2月22日から2月25日の4日間、オホーツク寒気団の皆様と東京、南伊豆、足助町に行ってきました。

私たちは、お昼過ぎに女満別空港を出発して羽田空港に到着、ホテルのチェックインを済ませ、「なみへい」に向かいました。「なみへい」で晩ごはんを食べながら大人の方々とお話をしました。その中で一番興味の惹かれたことは、「なみへい」の料理は今までご縁があった方々から食材や料理などを聞いてそれを出すので、毎月違った色々な地域の料理が出てくるということです。私たちが行ったときは、茨城県守谷市と千葉県いすみ市の料理が出ました。出てきたのはほうれん草の真丈、守谷市産の紅ほっぺの飲むヨーグルト、常陸秋そばと有機野菜のサラダ、最後は大原漁港産のタコとわかめのしゃぶしゃぶでした。どれも美しく食材のことをしっかりと理解しているものだと思います。他には、佐呂間にいたら知ることがなかった私立学校振興共済事業団という私立学校教育を支える仕事があることを聞きました。

次の日は、築地で朝食を食べ、車で南伊豆の静岡県立下田高等学校南伊豆分校に行きました。南伊豆分

校では、高校生と交流という名目で行ってきました。時間が少し少なくなると、お互いの学校の説明や将来やりたい職業を話しただけで終わってしまったのが残念でした。南伊豆分校の生徒さんは、地方の大学や専門学校に行ってもいずれば地元に戻り働きたいという人が多く、すぐく自分の育った街が好きなたちなんだなと思いました。他には、千人アンケートというアンケートを街の人にも実施し、南伊豆をどう思っているかを調査したりしていて、佐呂間町でもやっていいのではないかと思いました。南伊豆分校を離れたら湯の花に行き、農家さんの作ったみかんや野菜などを買いました。その日の食事で、南伊豆の町長岡部さん、町議会議員の横嶋さん、湯の花の理事長の吉田さんなどが来て、南伊豆がどんな町か、どういうことをしているか、などの話をさせていただきました。

次の日私たちは、朝食を済ませ、もう一度みかんや野菜などを買い、最後に写真を撮って足助町に向かいました。足助町に到着してから町の中を歩き、一番初めに行ったのがペン画家の柄沢照文さんのところでした。そこには屏風が飾られていて、それを柄沢さんが書いたと聞き驚きました。かわいい絵を描いている人

なのかと思っていました。素晴らしい絵を描いていることに驚きました。研修最後の夜は、香嵐亭代表取締役の浅井さんや、両口屋の佐久間さんなど、たくさんの方が来てくれました。私はこのときはあまり大人の人と話さず、寒気団の人のお孫さん（高校2年生）と将来の夢や学校のこと、町のことなど、いろいろな話をしました。途中、参加した高校生から一言と言われ、何か言いたく自分でも何を言ったのかを覚えていませんでした。ですが、土屋さんやお孫さんの一言はよかったと思います。その中でも土屋さんの「私に名刺をくれていない方はあとで私に名刺を下さい」には驚きました。このあと、たくさんの名刺を頂きました。食事が終わってから、私は船木さんと学校のことをたくさん話しました。次の日は足助町を少し見て、北海道に帰りました。

私は、少し前まであまり人と話すことをしませんでした。しかし、しゃべる場という大人の方と話す機会も増えたり、自分も成長出来たと思います。そしてオホーツク寒気団の研修に参加してから、もっと他の町の人と話をしてみたいと思いました。これもしゃべる場という場があり、寒気団に参加でき、町が補助をして

下さったから体験出来たことだと思います。ありがとうございました。

